

病院と地域の多職種連携事例検討会①

～在宅療養へのスムーズな移行を支える 病院と地域の多職種連携～

患者さん・ご家族が望む在宅療養へ、安心して移行できる体制をつくるためには、病院と地域の多職種が互いの現状や課題を理解し合い、連携を深めることが欠かせません。

本検討会では、病院及び在宅の現状と課題について事例を募集し、事例をもとに、病院と地域が日頃から抱える課題を共有して、双方の理解を深め、課題解決を図るための意見交換を行います。

【日時】令和8年 9月8日(火)18:00～20:00

【方式】WEB講座(ZOOMミーティング)

【講師・アドバイザー】

○長崎市地域包括支援センター連絡協議会	会長	榊 寿恵
○長崎県看護協会在宅支援事業部	部長	下屋敷 元子
○ショートステイ 女神乃里	施設長	大町 由里
○長崎市包括ケアまちななかラウンジ	主幹	宮地 登代子

【対象】

病院(看護師・MSW)・施設(看護師・介護支援専門員・社会福祉士等)・訪問看護師・介護支援専門員・社会福祉士・地域包括支援センター職員等・・専門職ならだれでも・・

【定員】 30人 参加費無料

【申し込み方法】

9月6日までに登録サイト(<https://x.gd/moL0b>)
または二次元バーコードからお申し込みください。



皆さんが普段悩んでいる困りごとを みんなで話し合い、解決策を探ります！
お気軽にご参加ください！

事例を募集しています。困っていること、相談したいことなどメールで送ってください。

募集先 宮地登代子 m-toyoko@galaxy.ocn.ne.jp 〆切9月1日